



平安文化の粋を見る

平等院



宇治の世界遺

宇治上神社

宇治上神社の境内は小さく、三方を森に囲まれているため同じ宇治にあってても平等院とは対照的に静謐な空気に包まれています。

平等院と同じく1994年に世界文化遺産に登録された宇治上神社ですが、起源ははっきりしていません。調査から平安後期に建造されたと言われています。

また、明治時代に入るまでは隣接している宇治神社と併せて「宇治離宮」と呼ばれていました。その際、宇治上神社は『上社』、宇治神社は『下社』と呼ばれていたそうです。

また、平等院との結びつきも強く、平等院の鎮守として民間信仰を集めてき

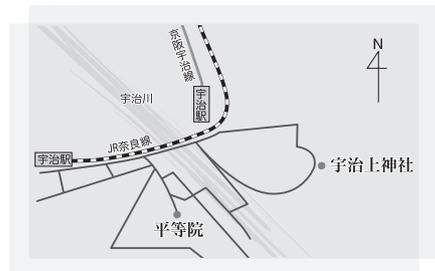
ました。

この神社が世界文化遺産に選定された理由は、本殿が日本最古の神社建築であり、拝殿は平安時代の住宅様式であることにあります。

静かな時間を味わいたくなったら、宇治上神社を訪れてみてはいかがでしょうか。きっと、千年前から変わらぬ風があなたを迎えてくれますよ。



周辺図



アクセス 出町柳-宇治……京阪電車で50分

平等院、宇治上神社
ともに京阪宇治線宇治駅下車 徒歩10分

◀宇治上神社本殿。本殿は拝殿の裏にあるため門からは見ることができない。

はみだし
すてーじ

さて、もうそろそろ本気を出すか。
⇒……ゴクリ。

(農・2 かたびら)
(無茶しやがって；編)

平等院

日本史の教科書でも有名な平等院の歴史は、平安中期1052年にまでさかのぼります。

時の権力者藤原頼通が極楽浄土を模して建立した鳳凰堂をはじめ、数々の建造物や仏像が、当時の栄華の様子を現代に伝えています。

平等院は1994年に、下で紹介する宇治上神社もあわせた府内17の寺社とともにUNESCOの世界文化遺産に登録されました。

平等院では、国宝の阿彌陀如来坐像と天蓋の「平成大修理事業」を行っていたため、先月30日まで鳳凰堂の拝観を停止していました。今月から再び拝観がで

きるようになったので、この機会に是非訪れてみてはいかがでしょうか。



◀国宝阿彌陀如来坐像。穏やかで優しい表情で坐している。

平等院の楽しみは併設されているミュージアム鳳翔館にもあります。平等院の庭内で平安に思いを馳せた後は、鳳翔館で文化財を堪能してください。



▲国宝天蓋。9月までは併設されている鳳翔館で修理後の姿を単独で見ることができた。

入園	8:30~17:30
鳳翔館	9:00~17:00

入園料	大人600円
鳳凰堂拝観	300円

産を歩こう

—電車でぶらりと出掛けてみませんか？
(ダディ)



歴史の風に包まれる

宇治上神社

はみだし
すてーじ

俺、この戦争が終わったら結婚するんだ……。
⇒俺、この記事が終わったら家に帰るんだ……。

(葉・3 もみあげ石)
(こんなこと書くと叶わない；編)